

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上の注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水管工事は専門業者をお願い致します。

## 安全上のご注意

### 本品を安全に正しくお使いいただく前に

**絵表示について** 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**△警告** この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

**△注意** この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**○記号** は、禁止行為であることをお知らせするものです。図の中や近くに具体的な「禁止」内容を示しています。

**●記号** は、必ず実行していただくものです。図の中や近くに具体的な「強制」内容を示しています。

### △警告

- 必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
- 故障や水漏れの原因になります。修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。

### △注意

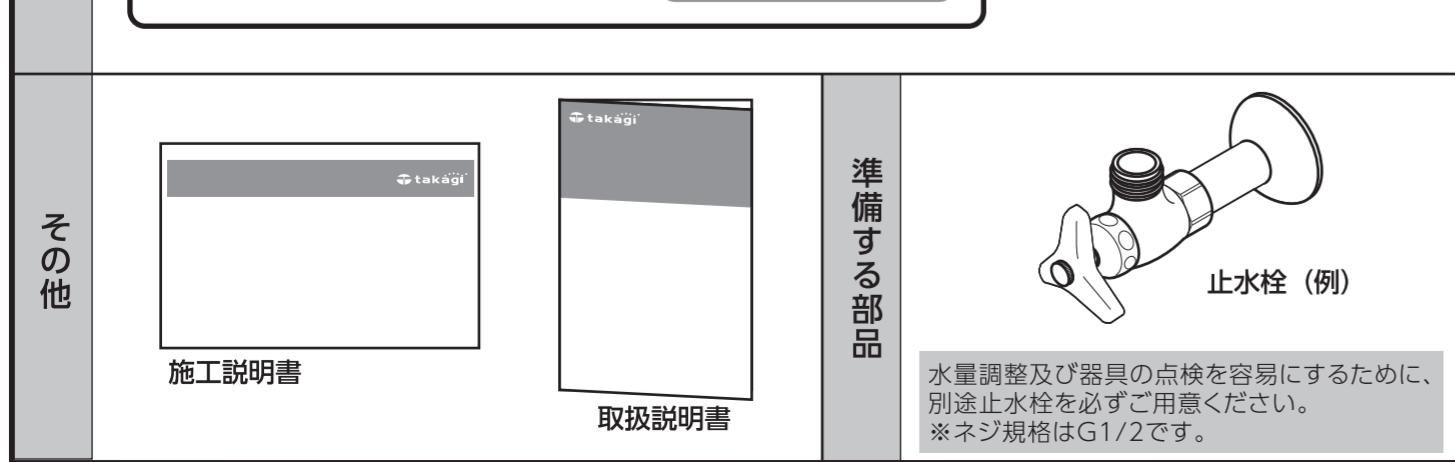
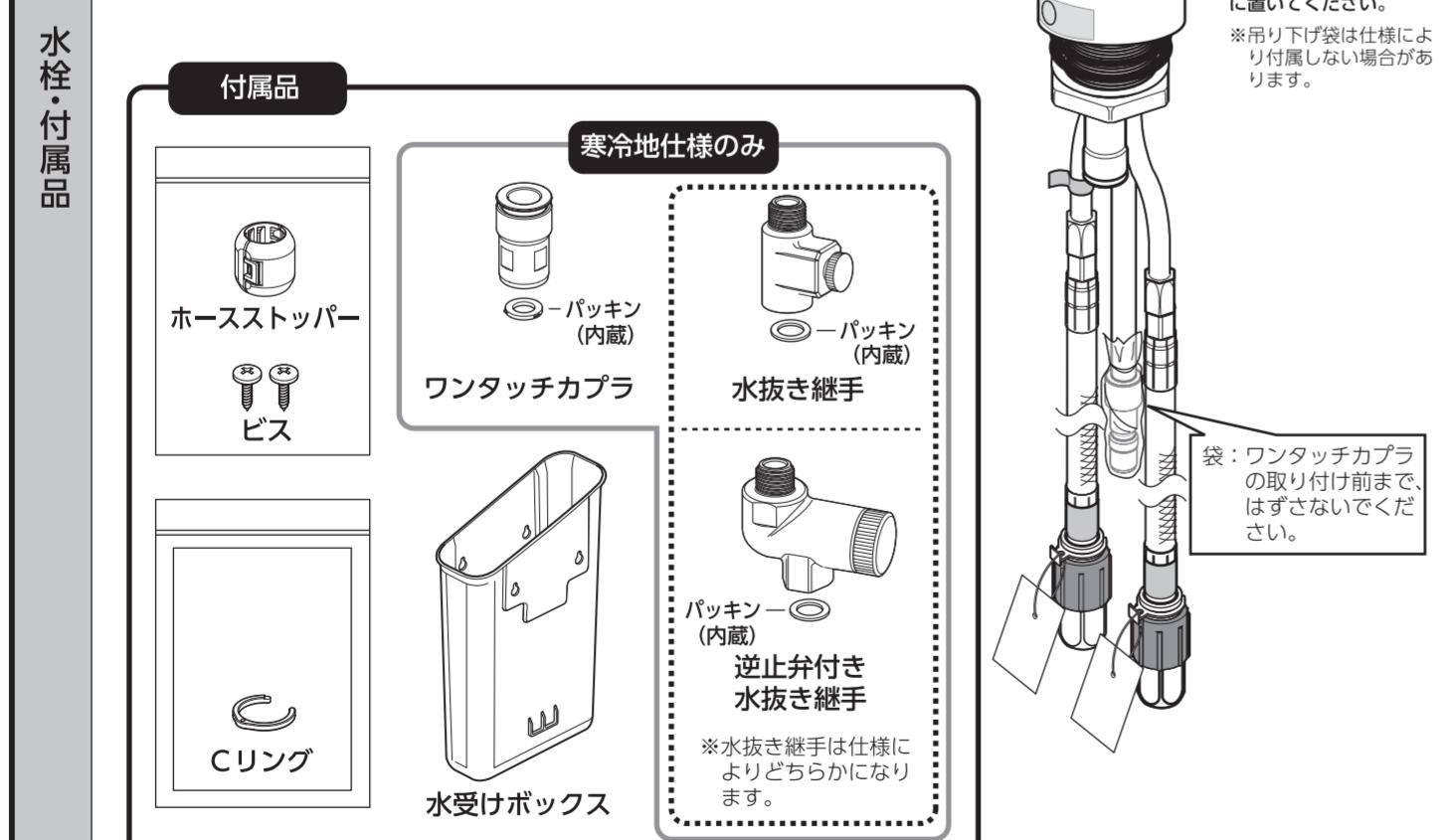
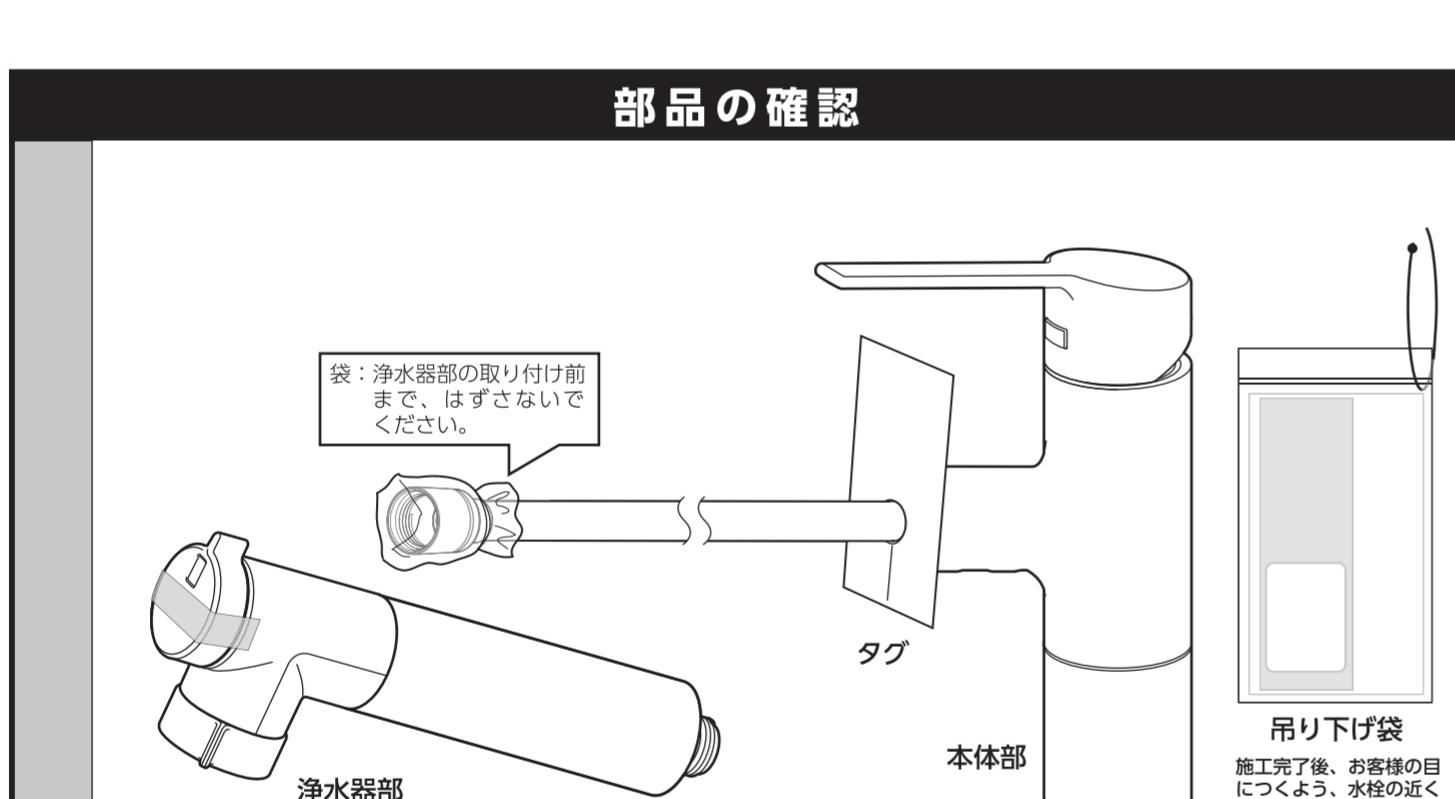
#### やけどをすることがあります

- 湯水を逆に配管しないでください。
- 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯温が使用中に急上升することがあります。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

#### 湯・水が噴き出てやけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

- 60°Cを超える高温でご使用になると器具が破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。また、誤操作によるやけど防止のため、給湯温度は60°Cを超える高温で使用しないでください。
- 水抜き継手を開けると高温の湯が出るおそれがあります。事前に吐水して、高温の湯が出ないことを確認してから水抜きを行ってください。

### 部品の確認



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

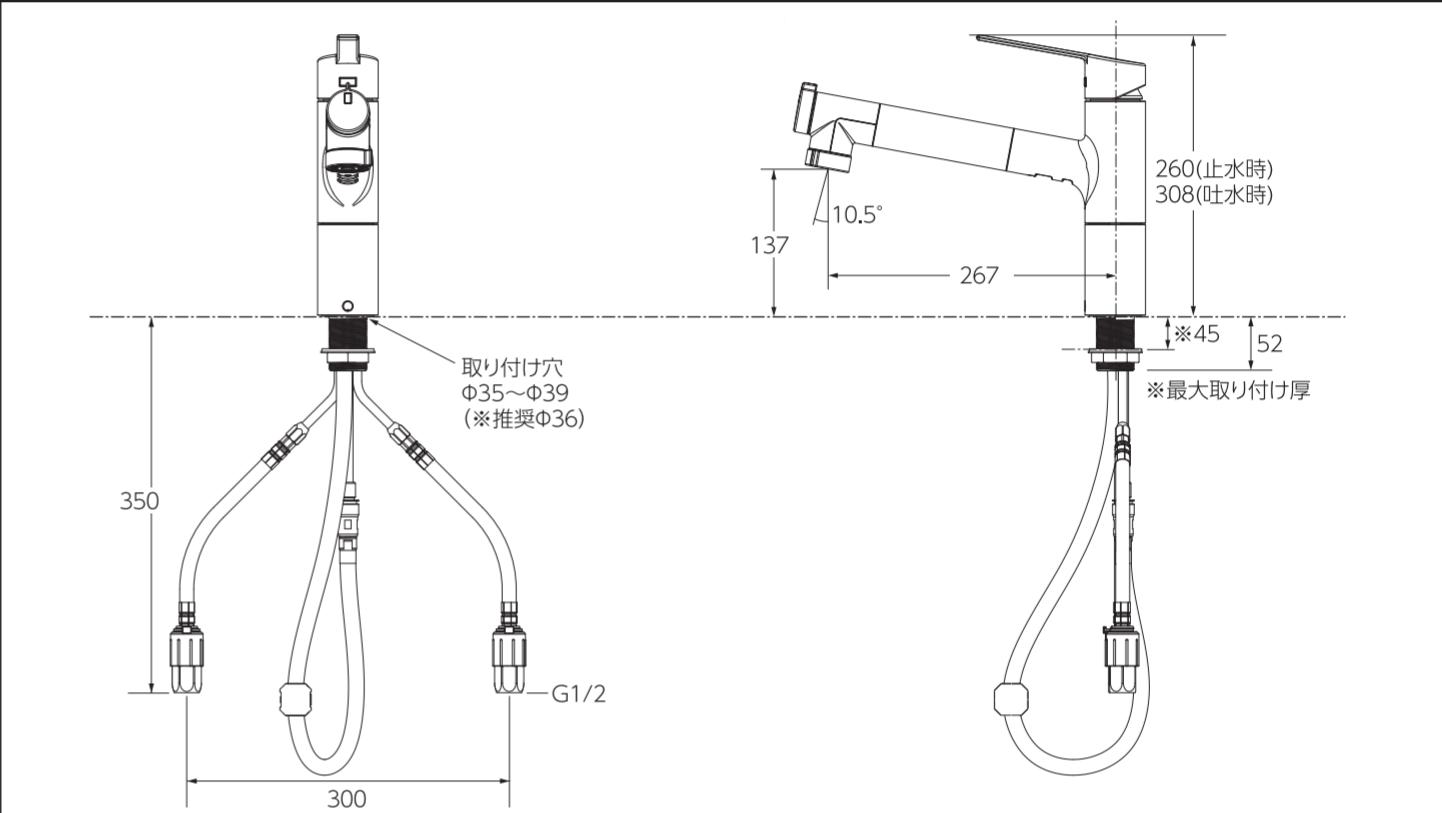
## △注意

### 水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

- 新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。
- 止水栓に逆止ソケットを取り付けた際、充分にシールされていることを確認してください。
- 高水圧地区では減圧弁を設置してください。
- 製品を落したり、強い力や衝撃を与えないでください。
- 水栓及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかりと固定してください。各接続部が確実に固定されないと水栓が傾いたり、水漏れが発生する可能性があります。
- 定期的に止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行えない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓(点検口)を設置してください。
- 施工完了後は、水栓及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。
- 冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。

**△ 温泉水など、異物を多く含む水には使用できません** ※給水は上水道に接続してください。

### 外観寸法図



### 設置条件

- 水圧条件**
  - 給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力を減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くならないように設定してください。
  - 給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保溫材を巻いてください。

※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。

#### 1.施工方法 ※新設の場合は「1-②ブレードホースから逆止ソケットを取りはずす」に進んでください。

##### 1-①水道配管の止水栓を閉める

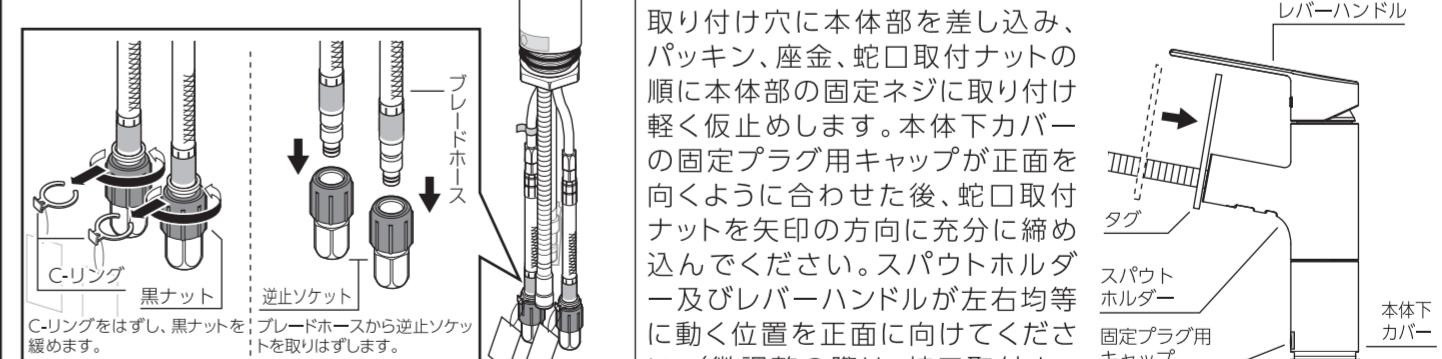
止水栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、止水栓を右にまわして閉めます。  
※一部の地域では左まわしの場合もあります。

- キー式
- ハンドル式
- マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス

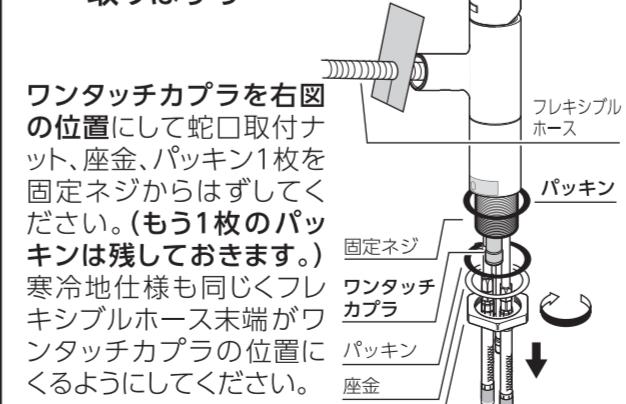
##### 1-②ブレードホースから逆止ソケットを取りはずす

水・湯側のブレードホースから逆止ソケットを取りはずします。

- 本体部の下面にパッキン1枚が付いていること(※1)、ワンタッチカプラが図の位置にあることを確認してください(※2)。
- ワンタッチカプラの位置固定のため、タグを一度はずし、図の位置に付け替えると施工しやすくなります。(図の位置にワンタッチカプラがないと、座金、蛇口取付ナットが固定ネジを通り抜けできません。)



##### 1-③蛇口取付ナット、座金、パッキンを取りはずす



※寒冷地仕様の場合、ワンタッチカプラはフレキシブルホースに接続されていません。フレキシブルホースの末端が図のワンタッチカプラの位置となります。

##### △注意 破損の原因となります

●蛇口取付ナットを締め込んだ状態で向きの調整をしないでください。

※寒冷地仕様の場合 ワンタッチカプラはフレキシブルホースに接続されていません。接続方法は1-②寒冷地仕様の場合をご参照ください。

※タグは天板に本体部固定後、取りはずしてください。

△注意 本体部に天板を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

(側面図)

## 1-5止水栓に逆止ソケットを取り付ける

止水栓に逆止ソケットを取り付けます。

※逆止ソケットは平行ネジ(Gネジ)です。

※止水栓がテープ/ペネジ(Rネジ)の場合は、テープ/ペネジ(Rネジ)用アダプターを使用してください。

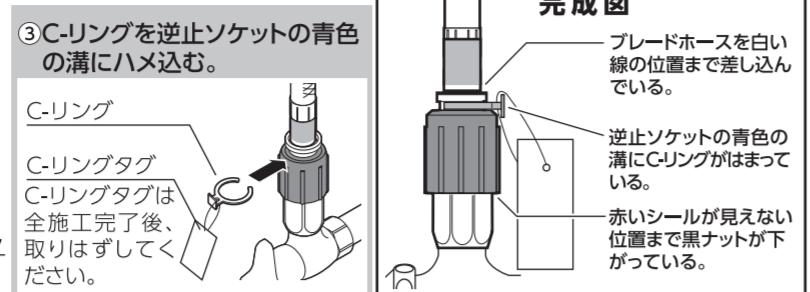
### △注意 水漏れのおそれがあります

平行ネジにはシールテープを巻かないでください。

止水栓に逆止ソケットを取り付けた際、充分にシールされていることを確認してください。

## 1-6逆止ソケットとブレードホースを接合する

①ブレードホースを白い線までソケットに差し込む。



②逆止ソケットの赤いシールが見えなくなるまで黒ナットを締める。

完成図  
ブレードホースを白い線の位置まで差し込んでいます。

逆止ソケットの青色の溝にCリングがはまっています。

赤いシールが見えない位置まで黒ナットが下がっている。

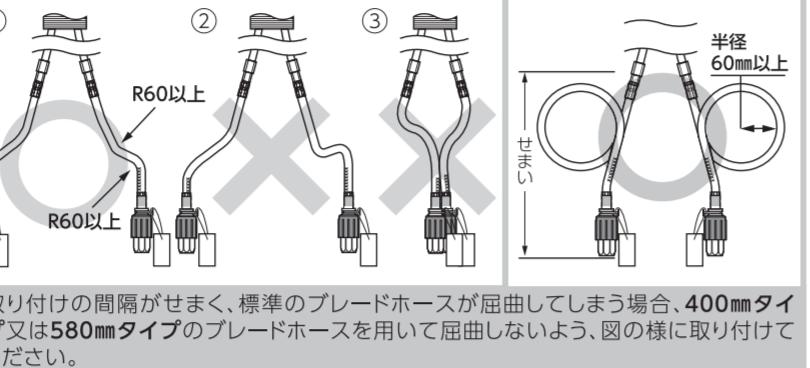
### △注意 水が出なくなります

ブレードホース(湯側・水側)の施工上の注意点

①ブレードホースの折れにご注意ください。ブレードホースを最小曲率半径(60mm)よりも小さく曲げて使用しますと、ブレードホースが折れることができます。施工時には最小曲率半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

②ブレードホース端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

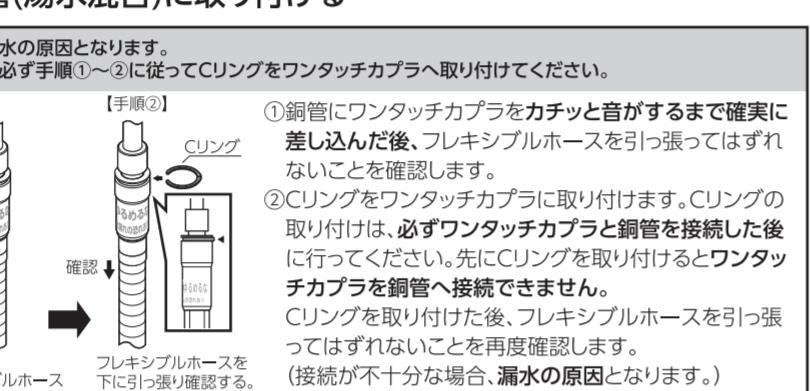
③ブレードホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩耗による外傷でホース性能劣化の可能性があります。



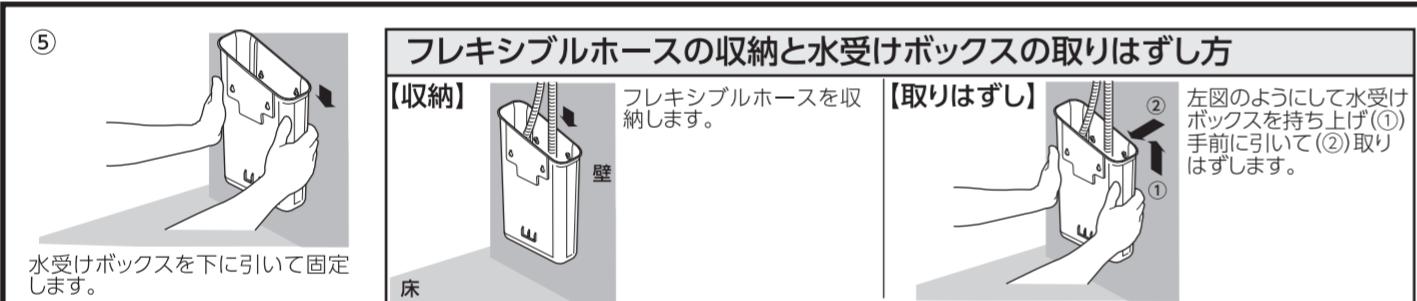
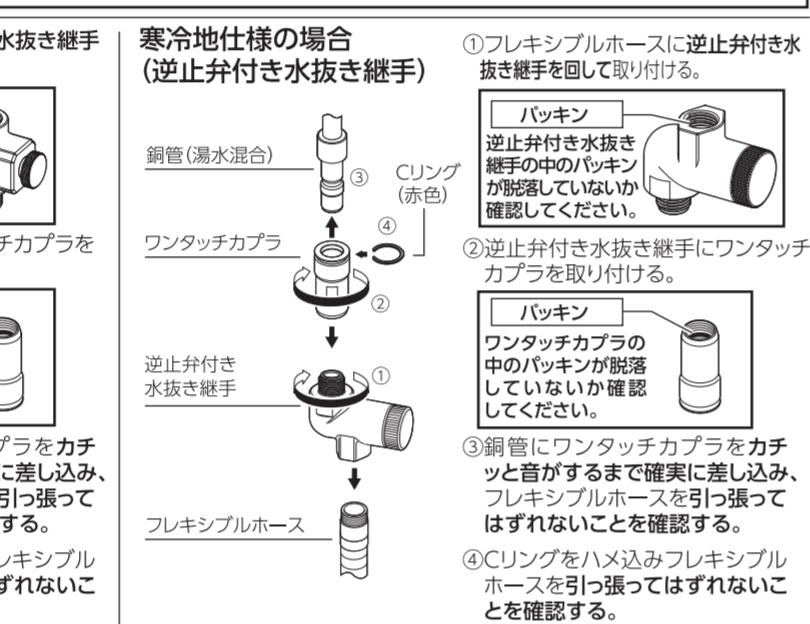
取り付けの間隔がせまく、標準のブレードホースが屈曲してしまう場合、400mmタイプ又は580mmタイプのブレードホースを用いて屈曲しないよう、図の様に取り付けてください。

## 1-7フレキシブルホースを吐水口側の銅管(湯水混合)に取り付ける

フレキシブルホースをシンク下に引き出し銅管(湯水混合)に接続してください。

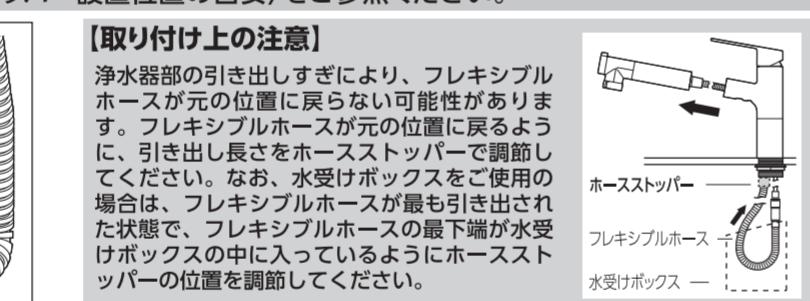


### 寒冷地仕様の場合



## 1-12ホースストッパーを取り付ける

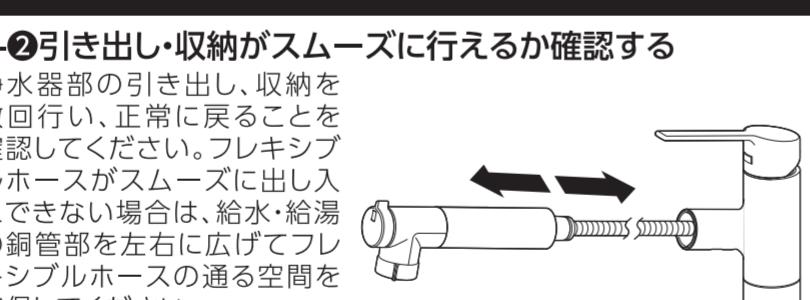
フレキシブルホースをさみ込みます。



## 2.取り付けが終わったら

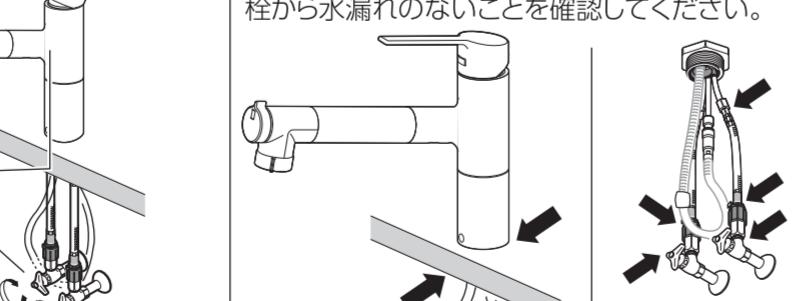
### 2-1仮止めテープをはがす

浄水器部と本体下カバーにある仮止めテープを剥がしてください。



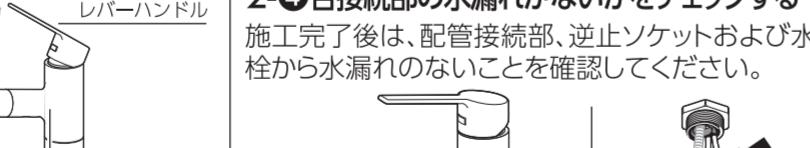
### 2-2引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。フレキシブルホースがスムーズに出し入れできない場合は、給水・給湯の銅管部を左右に広げてフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



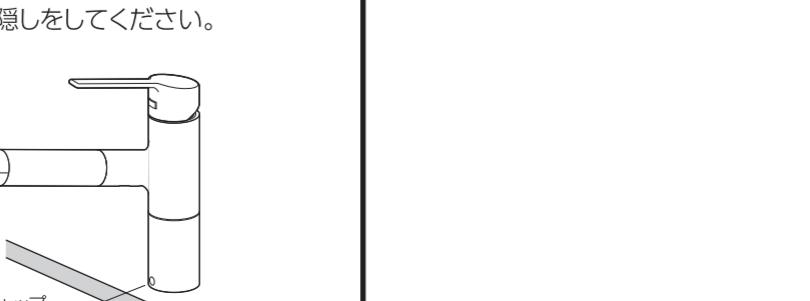
### 2-3止水栓で流量を調節する

レバーハンドルをセンターに合わせ、全開にして適温の湯が出るように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。



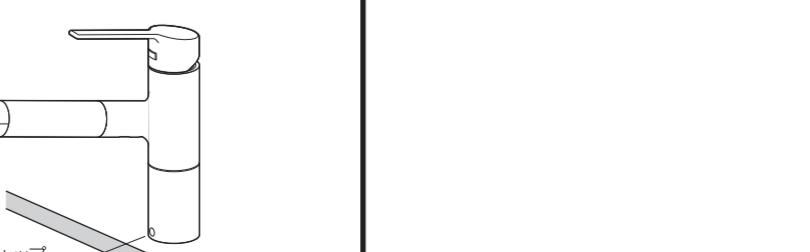
### 2-4各接続部の水漏れがないかをチェックする

施工完了後は、配管接続部、逆止ソケットおよび止水栓から水漏れのないことを確認してください。



### 2-5本体部がガタついていないかをチェックする

施工完了後、本体部にガタつきがある場合は、固定プラグ用キャップをはずし、六角レンチ(4mm)でセパレートユニット固定プラグを増し締めしてください。増し締めした後、本体下カバーに固定プラグ用キャップをハメ込んで目隠しをしてください。

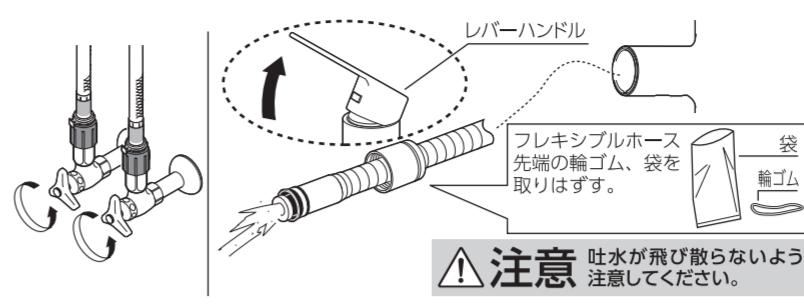


## 1-8水道配管の止水栓を開ける

シンク下にある止水栓が閉じていることを確認してから、止水栓ボックス(メーターBOX)のふたを開け、止水栓を左にまわして開けます。※一部の地域では右まわしの場合もあります。

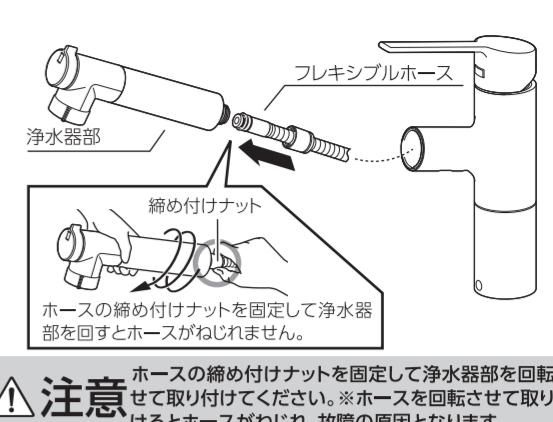
## 1-9浄水器部を取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

レバーハンドルが閉じているのを確認してから、シンク下の止水栓を開き(湯側・水側同様)、レバーハンドルを上げて給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを下げて閉じてください。



### △注意 吐水が飛び散らないよう

## 1-10浄水器部を取り付ける



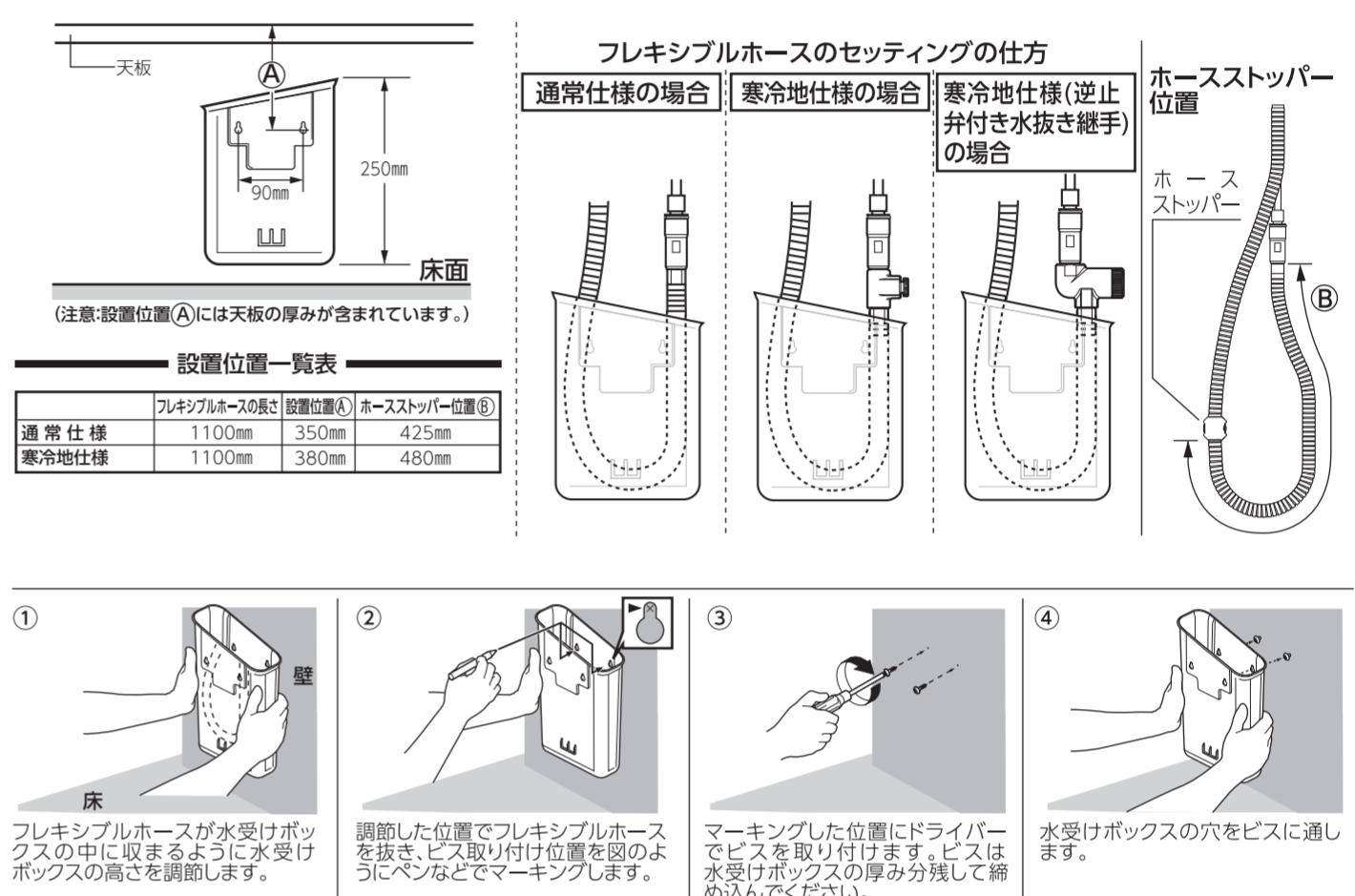
### △注意 ホースを回転させて取り付けてください。※ホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因となります。

## 1-11水受けボックスを取り付ける

### △注意 ※必ずお読みください。

- 水漏れ事故防止のため、当社製水栓金具「みず工房」以外のものに取り付けないでください。
- 本体部のスパウトホルダーから水が多量に入った際には、水受けボックスを取りはずし、滞留水を捨ててください。
- フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスの中に入るようホースストッパーの位置を調節してください。
- 変形するおそれがあります。40°C以上にならないような場所に設置してください。

## 〈シンク下での水受けボックス、ホースストッパー設置位置の目安〉



### ■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上の不明点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

### ■商品に関するお問い合わせは

電話料  
無  
0120-328-413  
24時間電話受付(年中無休)

株式会社 タカギ

<http://www.takagi.co.jp/>